

# 同志社大学歴史資料館 館報

第22号

はじめに

歴史資料館館長 新 茂之

## I 歴史資料館（2018年度）の運営

## II 調査・研究報告

和泉・塔塚古墳出土遺物報告—同志社大学歴史資料館所蔵品を中心として—

浜中邦弘・辻川哲朗・春日宇光・三浦悠葵（1）

大阪府和泉市道田池古墳群出土資料調査報告

繰納民之（83）

京都市幡枝採集の古代瓦について—窯跡資料の紹介—

岡本 健（129）

新宗谷館跡出土の金属製品について—再整理と若干の考察—

山本尚人・瀧喜和子（135）

同志社大学新図書館地点出土「禁裏御用品」の報告

毛利知寛（143）

中世末期京都出土の「備前焼」胎土分析について

浜中邦弘・白石 純（145）

2019  
同志社大学歴史資料館

## はじめに

2018年度、本館では、発掘調査報告書の作成、館蔵資料の整理、企画展の開催、発掘調査等を行いました。

発掘調査報告書では、江戸時代に二条家の屋敷地があった地点の調査に基づき、公家である二条家を考古学的見地からまとめ公家の実相を明らかにしました。

企画展は『考古学は地域に勇気を与える―森浩一の考古学2―』をテーマに開催いたしました。森浩一氏関係の企画展示は今回が2回目で、氏が発した『考古学は地域に勇気を与える』という言葉を中心に資料展示を行いました。当館には氏の学術研究資料が数多く寄贈されており、また機会を作ってそれらの展示公開を行いたく思っています。

森浩一氏の学術研究資料の整理を現在も継続的に行っており、今回その成果の一部を関係者の努力によってまとめることができました。ここに深く感謝申し上げます。この館報に掲載しているその他の研究報告もいずれも重要な成果です。

本館の様々な活動は、内外の関係各位・機関のお力添えなくしてできるものではありません。今後とも本館の活動に、ご助力・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2020年2月20日

同志社大学歴史資料館

館長 新 茂 之

# 同志社大学歴史資料館館報

## 第22号

### 目 次

はじめに	歴史資料館館長 新 茂之
I 歴史資料館（2018年度）の運営	
2016年度の運営	
（1）組織	（i）
（2）運営委員会委員	（i）
（3）運営委員会の開催	（i）
（4）学芸関係の事業	（i～v）
（5）管理関係の事業	（vi）
II 調査・研究報告	
和泉・塔塚古墳出土遺物報告 —同志社大学歴史資料館所蔵品を中心として— 浜中邦弘・辻川哲朗・春日宇光・三浦悠葵（1）	
大阪府和泉市道田池古墳群出土資料調査報告	繰納民之（83）
京都市幡枝採集の古代瓦について— 窯跡資料の紹介—	岡本 健（129）
新宗谷館跡出土の金属製品について—再整理と若干の考察— 山本尚人・瀧喜和子（135）	
同志社大学新図書館地点出土「禁裏御用品」の報告	毛利知寛（143）
中世末期京都出土の「備前焼」胎土分析について	浜中邦弘・白石純（145）

執筆者一覧 (50音順)

岡本 健 (おかもと たけし)	同志社大学大学院文学研究科博士課程前期生
春日宇光 (かすが うこう)	飯田市教育委員会主事
白石 純 (しらいし じゅん)	岡山理科大学教授
繰納民之 (そうのう たみの)	同志社大学文学部文化史学科4回生
辻川哲朗 (つじかわ てつろう)	公益財団法人滋賀県文化財保護協会
浜中邦弘 (はまなか くにひろ)	同志社大学歴史資料館准教授
三浦悠葵 (みうら ゆうき)	福岡市教育委員会主事
瀨喜和子 (はま きわこ)	同志社大学文学部文化史学科3回生
毛利知寛 (もうり ともひろ)	同志社大学文学部文化史学科3回生
山本尚人 (やまもと なおと)	同志社大学大学院文学研究科博士課程前期生

同志社大学歴史資料館  
館 報 第22号

2020年2月20日

発行 同志社大学歴史資料館

〒610-0394  
京田辺市多々羅都谷1-3

TEL. 0774-65-7255

印刷 株式会社 図書同朋舎